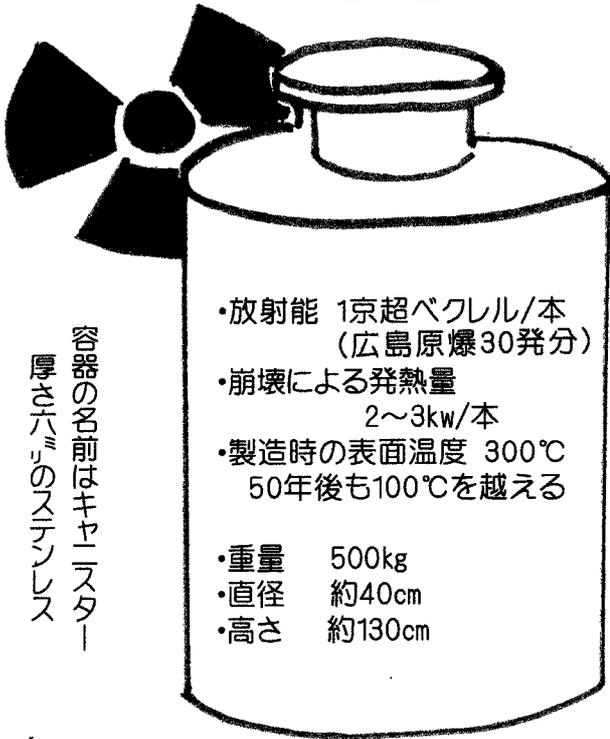


核のごみの最終処分場誘致はやめて！

ガラス固化体



- 放射能 1京超ベクレル/本 (広島原爆30発分)
- 崩壊による発熱量 2~3kw/本
- 製造時の表面温度 300℃
50年後も100℃を越える
- 重量 500kg
- 直径 約40cm
- 高さ 約130cm

容器の名前はキャスター
厚さ六ミリのステンレス

<寿命の長〜い放射能>
プルトニウムの半減期2.4万年、ネプツニウムの半減期214万年など超長寿命核種が含まれガラス固化体の危険性は半永久的に続きます。

核最終処分場の
滋賀誘致を懸念
岐阜県知事が表明
岐阜県に隣接する滋賀
県余呉町の畑野佐久郎町
長が高レベル放射性廃棄
物の最終処分場の誘致を

検討する考えを表明して
いることについて、古田
肇岐阜県知事は五日、
「他県の自治体が誘致を
検討する場合でも、周辺
地域を含めた住民の安全
・安心を第一に考えて慎
重に検討していただきたい
」と述べ、この考えを
滋賀県や余呉町に伝える
意向があることを明らか
にした。県議会の一般質
問に答えた。

古田知事は「最終処分
場を県内に受け入れる考
えはない。余呉町が岐阜
県に隣接する自治体でも
あるので、重大な関心を
持っている」と語った。

中日新聞 2006年10月6日 32面 11版社会

・2006.12高レベル処分
場に応募しないことを
求める署名のチラシ
発行元:署名事務局

- ・極太線：确实度1の活断層
 - ・細線：确实度2~3の活断層
- NPO法人 大気イオン地震予測研究会
e-PISCO のHPより引用

余呉町

核最終処分場誘致へ

畑野町長「交付金で財政再建」
正式表明

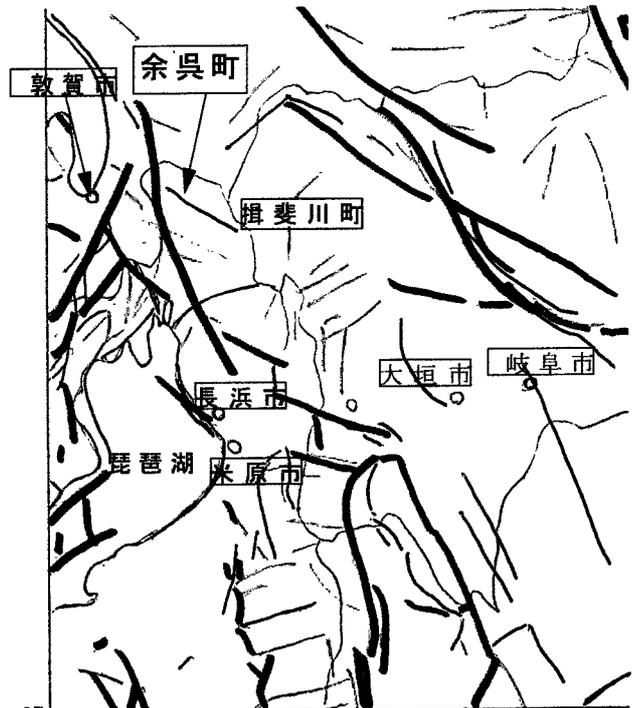
使用済み核燃料から発 生する高レベル放射性廃 棄物の最終処分場につい て、滋賀県余呉町の畑野 佐久郎町長は二十日、町 に表明した。 閣議後 原子力発電物の使用済 み核燃料再処理で、ウランとプルトニウ ムを取り出した後に残る極めて放射能の 強い廃液。ガラスとともに高温で溶かし、ステンレス容器に入れて約五百キロの「ガラス 固化体」として処分する。青森県六ヶ所村の施設 で三十一〜五十年間、冷却のため貯蔵、その後地下 下三百メートルの深い地層に埋め込まれている。処 分地選定は核燃料サイクルを表現する上で最大の 懸念となっている。

処分場の受け入れの前は「直ちに理解が得られ ない」と思っていた。 過去に地層な ると反対されても応募する意 向を示した。 同町は、昨年夏ごろか ら応募を検討したが、県 の反対でいったん断念し た経緯があり、畑野町長

は「直ちに理解が得られ ない」と思っていた。 過去に地層な ると反対されても応募する意 向を示した。 同町は、昨年夏ごろか ら応募を検討したが、県 の反対でいったん断念し た経緯があり、畑野町長

不十分な中で、近畿千四 百万人の水源県である本 県に処分場が立地するこ とはふさわしくない」と 反対の意向を示した。 最終処分場は、原子力 発電環境整備機構(原環 機構)が二〇〇二年十二 月に全国の自治体から公 募を開始。しかし、県や 住民の反対で正式に応募 した自治体はない。この ため、経済産業省は文獻 調査に伴う交付金を年間 十億円に引き上げる方針 を打ち出している。

中日新聞 2006年9月21日 1面 滋賀11版



余呉町と滋賀県東部、岐阜県西部活断層